

HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

# 第94期 株主通信

中間

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

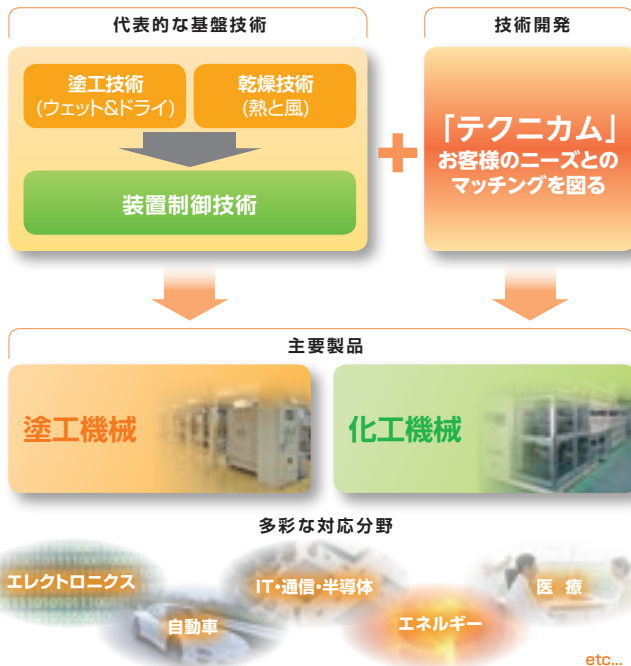
証券コード 6245



株式会社 ヒラノテクシード

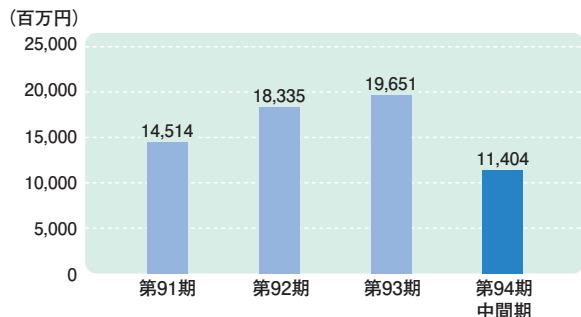
# 株主の皆さまへ

「塗工」「乾燥」「制御」の技術を融合させ、幅広い産業に欠かせない製造装置をお届けしております。

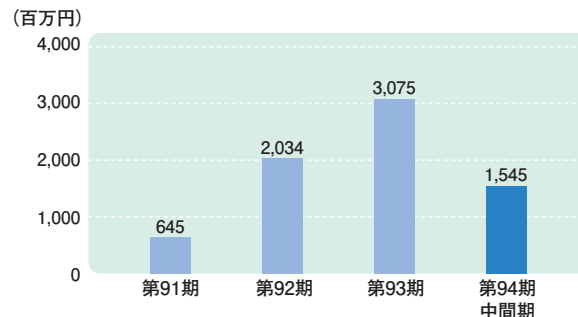


## 連結業績ハイライト

### 売上高



### 経常利益



当中間連結会計期間におけるわが国経済の企業業績は堅調であり、所得雇用環境の改善も続いており景気は回復基調で推移いたしました。

海外におきましても、米国は政策動向への懸念はありながらも、個人消費に支えられ順調に景気拡大を続けており、EUも一部改善に足踏み状態がみられたものの回復傾向で推移いたしました。

また、中国においても、高度な生産設備の導入などが加速し投資にも盛り上がりを見せ、堅調に推移しております。

このように、世界的に景気回復の兆しが現れるなか、当社グループは、「生産性の更なる向上」をスローガンに、徹底した品質管理を行い、価値ある技術を創出し続けるべく、新しい提案や新技術の要望にも積極的に取り組んでまいりました。

企業の設備投資に対する意欲は高まっており、スマートフォンや電気自動車関連市場への投資が活況を呈しており、受注、売上高ともに、電気・電子部品関連及びエネルギー関連分野向けを中心に高水準で推移いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は11,404百万円(前年同期比81.4%増)となり、利益面では営業利益は1,503百万円(前年同期比199.6%増)、経常利益は1,545百万円(前

# 「Wet & Dryのコーティング装置」で世界トップクラスの企業として、企業価値の一層の向上をめざします。

年同期比205.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,057百万円(前年同期比202.8%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、国内は、各業界において、生産能力の増強や集約化に加え、更新に伴う企業の設備投資需要が高まると思われます。そのなかで、引き続き所得雇用環境の改善が持続し、個人消費マインドも緩やかながら持ち直し、下支えが期待される状況にあり底堅く推移すると思われまます。

米国や欧州においても雇用環境の安定により内需拡大が期待できます。また、中国においては、一部エネルギー関連等への設備投資意欲は堅調に推移しており、個人消費も所得の向上から堅調に推移すると思われまますが、インフラ整備への投資は落ち着きを見せはじめ、成長には鈍化懸念もあります。

当社グループにおきましては、引き続き電気・電子部材関連及びエネルギー関連分野が堅調に推移し、新規設備投資需要が見込まれます。短期納期や自動化、省力化など、顧客のニーズに対応すべく新技術の開発を行うとともに、コストダウンにも注力してまいります。これらを考慮した結果、現段階では、通期の連結売上高は21,000百万円、連結経常利益は2,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,900百万円を見込んでおります。



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

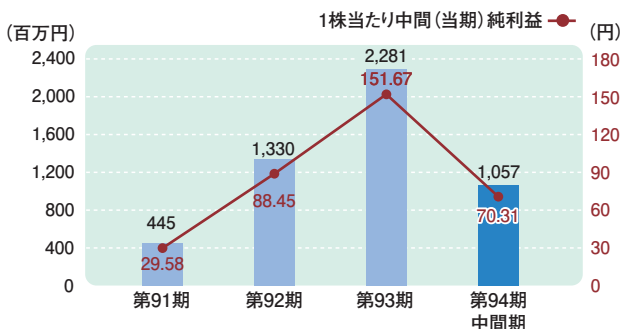
さて、第94期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の決算を終了いたしましたので、その概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

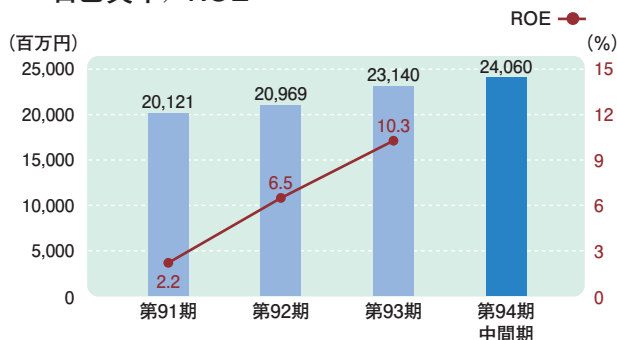
平成29年12月

取締役社長  
岡田 薫

親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 / 1株当たり中間(当期)純利益



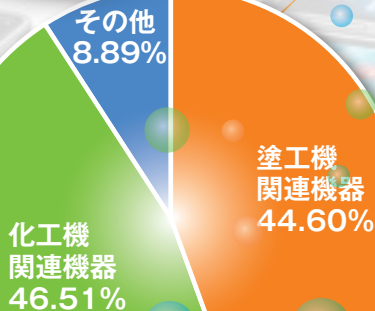
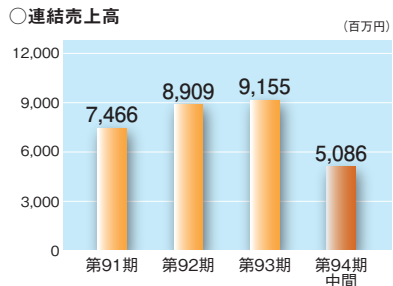
自己資本 / ROE



# セグメント別状況

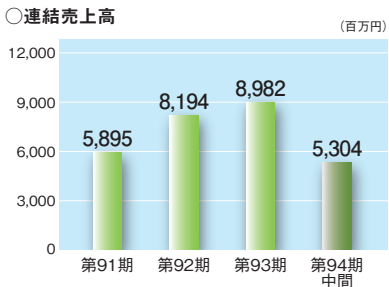
## 塗工機関連機器

各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



## 化工機関連機器

各種成膜装置、不織布・高機能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置





### 新規乾燥システム開発へ始動（2017年9月）

当社は、テクニカム（研究及び実験施設）にリチウムイオン二次電池電極の乾燥をターゲットとして、当社の「熱風乾燥技術」と日本ガイシ株式会社殿の塗工膜の乾燥に必要な温度の比較的低い赤外線波長領域のみを取り出す「波長制御ヒーター技術」とを融合させた新しいテスト乾燥炉を設置しました。

現在、リチウムイオン二次電池電極の乾燥は「熱風乾燥」が主流ですが、「表面からの乾燥制御の為に初期温度を上げられない、それゆえ乾燥炉長が長くなる」といった品質・生産性を追求する上で課題となっています。

「熱風乾燥技術」と「波長制御ヒーター技術」を融合させることにより、上記課題が解決でき、高効率・高性能乾燥が期待できます。

今後も継続して、実用化に向けたパイロットラインの設置や既設ラインの改造などからテクニカムでのテスト環境を更に充実させるとともに、お客さまに新規開発商品を積極的にアピールしてまいります。



#### ■ユーザーニーズをカタチにするテクニカム

テクニカムは当社とお客さまの技術交流の場です。世界でも類を見ない最大規模のテスト設備を備えており、お客さまと共に商品開発のための研究・実験を行うことで、最適な機械装置の設計をサポートしております。



「波長制御ヒーター」

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (平成28年9月30日現在)	当中間期 (平成29年9月30日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	<b>31,863</b>	<b>32,964</b>	<b>33,714</b>
流動資産	25,649	25,433	26,398
固定資産	6,213	7,531	7,316
有形固定資産	3,239	3,965	3,952
無形固定資産	110	92	111
投資その他の資産	2,863	3,473	3,252
<b>資産合計</b>	<b>31,863</b>	<b>32,964</b>	<b>33,714</b>
<b>負債の部</b>	<b>10,726</b>	<b>8,904</b>	<b>10,574</b>
流動負債	9,515	7,665	9,119
固定負債	1,210	1,238	1,454
<b>純資産の部</b>	<b>21,137</b>	<b>24,060</b>	<b>23,140</b>
株主資本	21,096	23,664	22,847
資本金	1,847	1,847	1,847
資本剰余金	1,339	1,339	1,339
利益剰余金	18,316	20,885	20,068
自己株式	△ 407	△ 408	△ 407
その他の包括利益累計額	41	395	292
その他有価証券評価差額金	300	595	504
退職給付に係る調整累計額	△ 259	△ 199	△ 211
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,863</b>	<b>32,964</b>	<b>33,714</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,032	547	△ 344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 258	△ 214	△ 893
財務活動によるキャッシュ・フロー	46	△ 513	165
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	1	△ 1
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	812	△ 178	△ 1,073
現金及び現金同等物の期首残高	12,220	11,147	12,220
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	13,032	10,968	11,147

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)


科 目	前中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高	6,285	11,404	19,651
売上原価	4,952	8,986	14,906
売上総利益	1,333	2,418	4,745
販売費及び一般管理費	831	915	1,723
営業利益	501	1,503	3,021
営業外収益	46	58	86
営業外費用	41	15	32
経常利益	506	1,545	3,075
特別利益	7	—	7
税金等調整前中間(当期)純利益	514	1,545	3,083
法人税・住民税及び事業税	130	477	771
法人税等調整額	33	10	29
中間(当期)純利益	349	1,057	2,281
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	349	1,057	2,281

### 配当のお知らせ

第94期中間配当金につきましては、1株当たり普通配当金13円とさせていただきます。

# 会社の概要

(平成29年9月30日現在)

社名	 株式会社 ヒラノテクシード
英文社名	HIRANO TECSEED Co.,Ltd.
創業	昭和10年6月1日
設立	昭和24年7月25日
資本金	1,847,821,888円
従業員数	247名
事業所 本社	〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1 電話 (0745) 57-0681
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目16番地 (ヒューリック神田ビル3F) 電話 (03) 5289-8834

## 役員

取締役社長 (代表取締役)	岡田 薫
常務取締役	定安 一男
取締役	安居 宗則
取締役	金子 二雄
取締役	岡田 富美一
取締役 (常勤監査等委員)	田澤 憲二
社外取締役 (監査等委員)	高谷 和光
社外取締役 (監査等委員)	田中 寛治郎
社外取締役 (監査等委員)	木村 規久男

## 子会社

ヒラノ技研工業株式会社	(産業用機械器具製造)
株式会社ヒラノK&E	(真空装置等製造及び 繊維機械等部品製造)

※平成29年4月1日、ヒラノ光音株式会社と株式会社ヒラノエンテックは合併し、株式会社ヒラノK&Eとなりました。

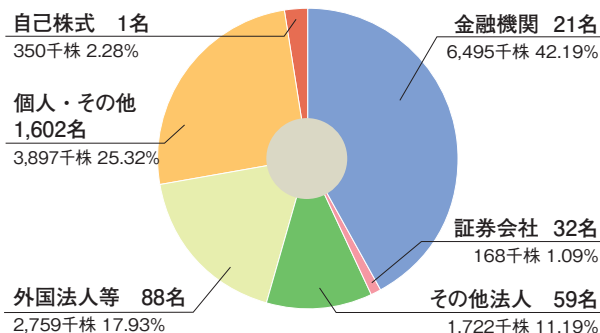
## 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,394,379株
株主数	1,803名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
明治安田生命保険相互会社	1,450	9.64
ヒラノ会	1,420	9.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,028	6.83
伊藤忠商事株式会社	850	5.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	783	5.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	737	4.90
株式会社りそな銀行	731	4.86
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	645	4.29
JP MORGAN CHASE BANK 380621	507	3.37
株式会社みずほ銀行	300	1.99
株式会社南都銀行	300	1.99

(注) 1. 上記の他、自己株式350,751株を保有しております。  
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	6245
公告掲載方法	大阪市において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) : 0120-094-777

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

インターネットホームページ : <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### ヒラノテクシード ホームページ

<http://www.hirano-tec.co.jp/>

ホームページで当社の事業活動、商品の案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧ください。ぜひご活用ください。



この冊子は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。